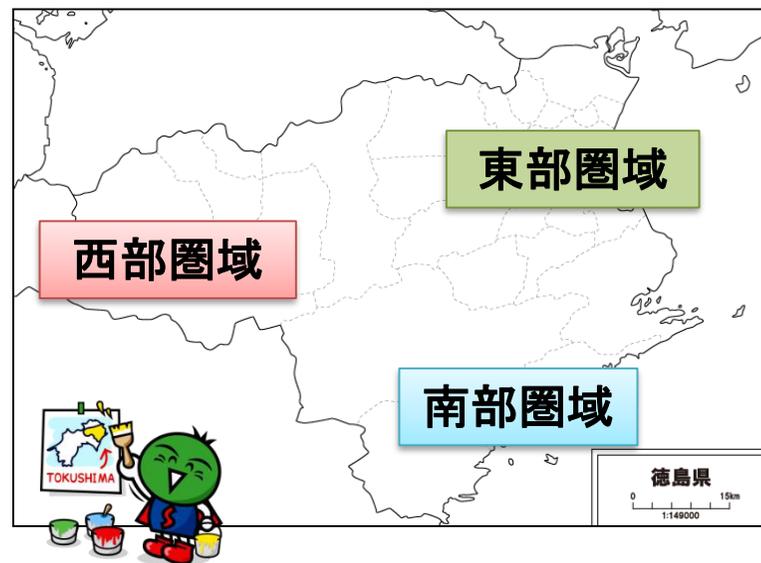


令和元年度 慢性腎臓病（CKD）診療連携構築 モデル事業報告

徳島県保健福祉部健康づくり課

徳島県の概要

- ◆ 人口:736,000人(H30.10.1 総務省推計人口)
- ◆ 高齢化率:33.1%(H30:全国5位)
- ◆ 透析患者数:2,811人
人口100万人対 3,819.3(H30:全国1位)
- ◆ 腎不全死亡率:35.6人/10万人(H30:全国1位)



CKD対策事業の背景

人口動態統計において、平成22年から平成29年まで、腎不全による死亡率は、全国ワースト10位以内を推移しており、平成30年はワースト1位となった。

また、本県の人口100万人あたりの「慢性透析患者数」及び「新規透析導入患者数」もワーストクラスとなっている。

CKD対策事業の目標

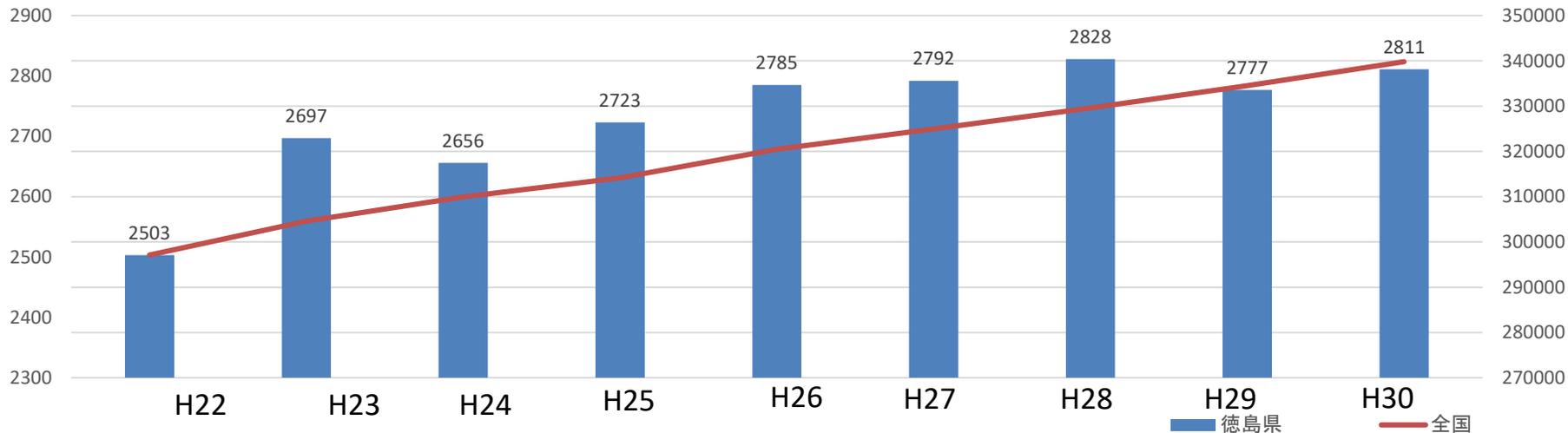
年間新規透析導入患者数の減少

透析患者数の推移

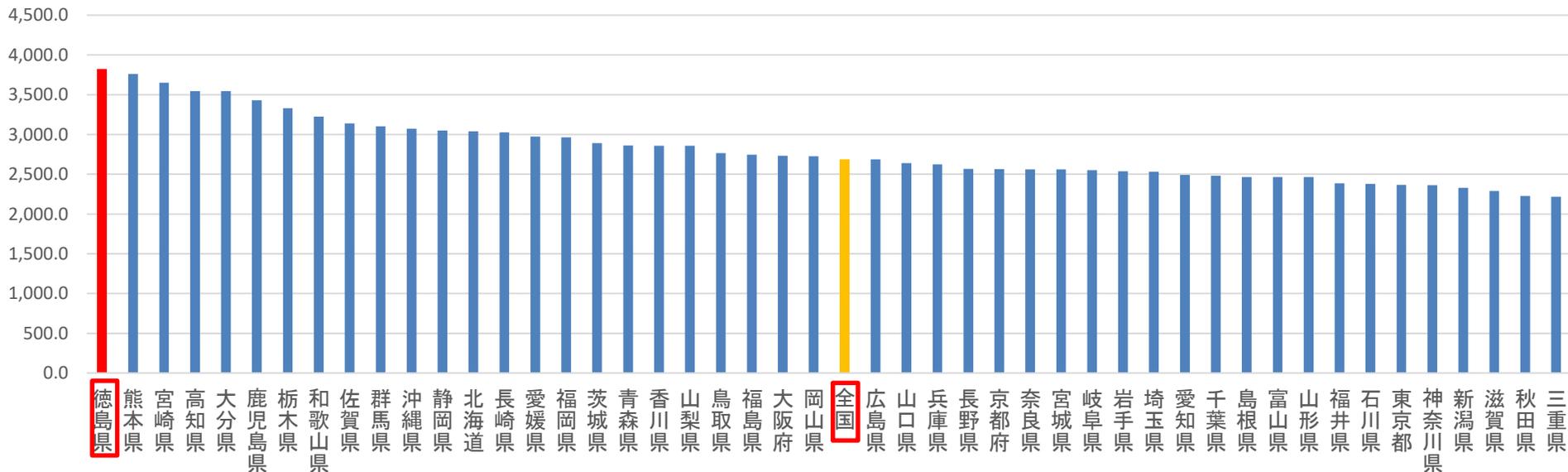
徳島県

慢性透析患者数の推移

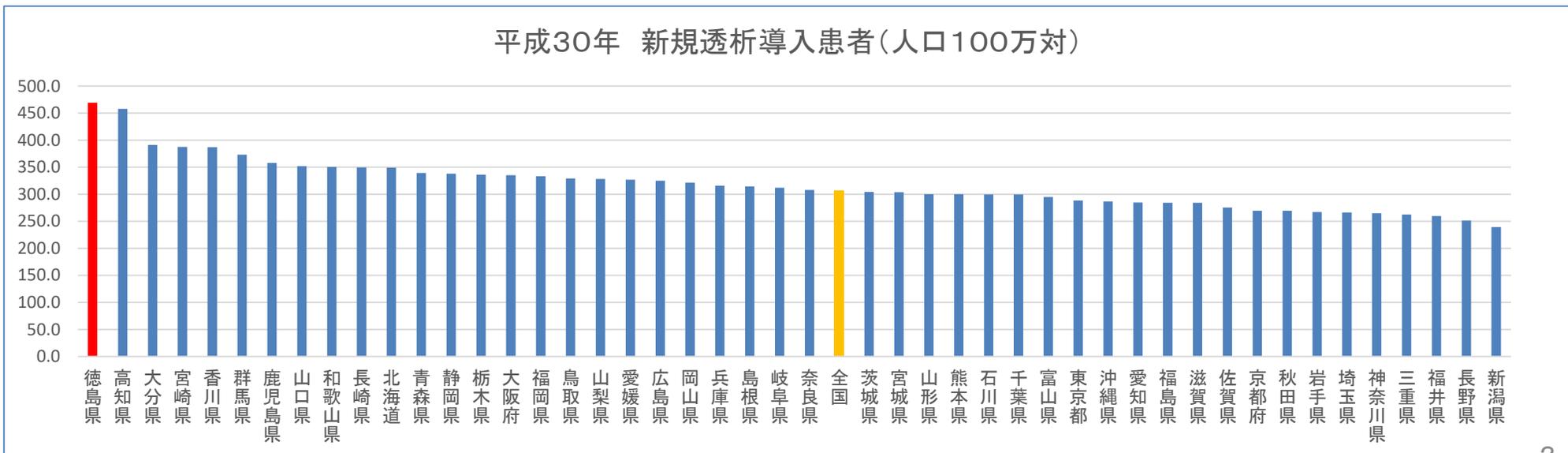
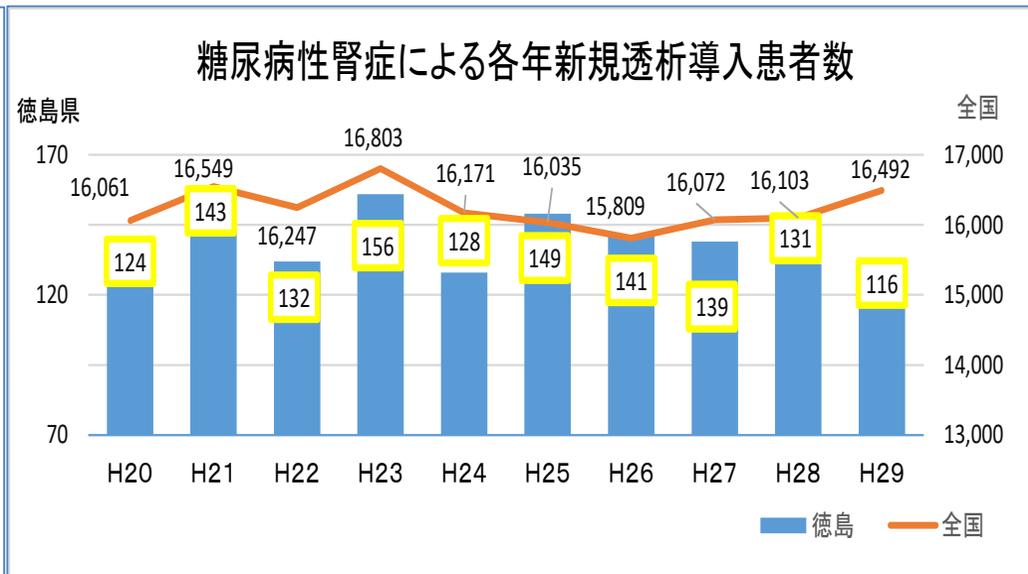
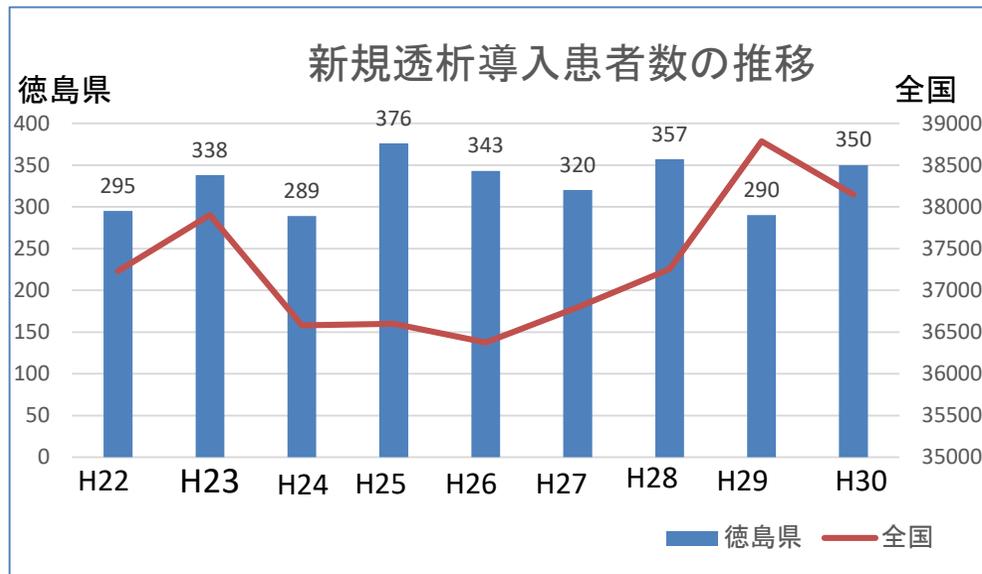
全国



平成30年 透析患者数(人口100万対)



透析患者数の推移

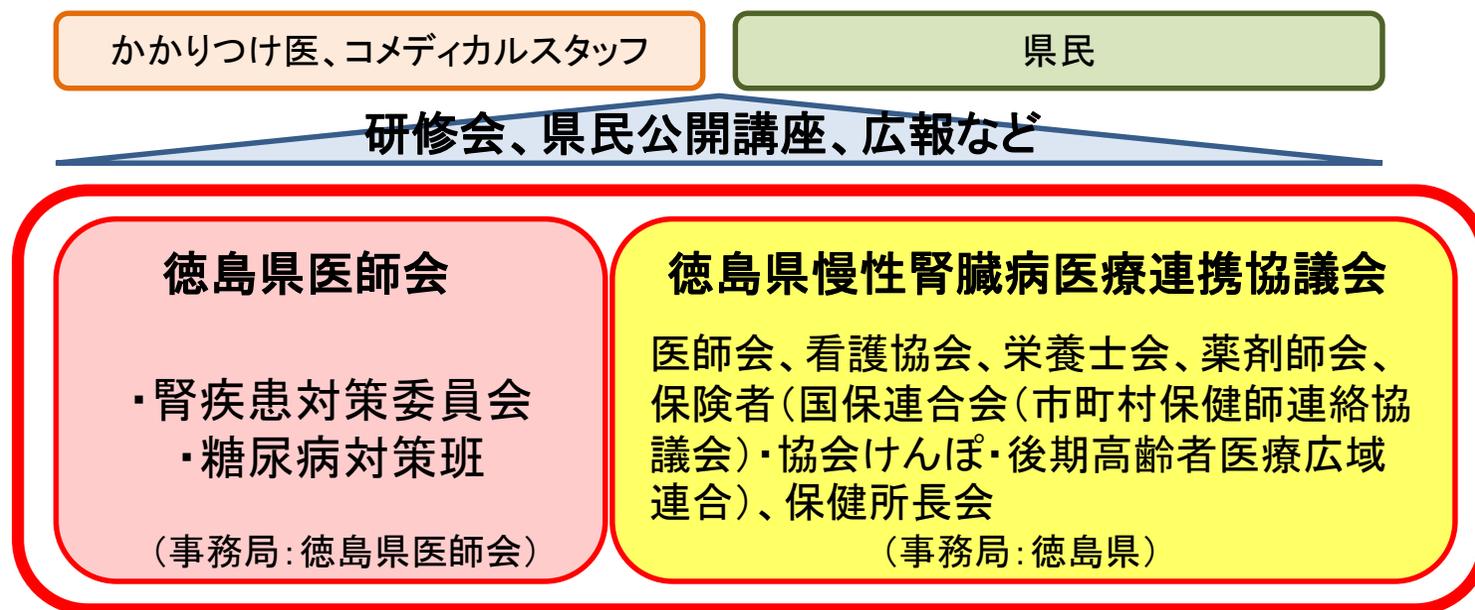


CKD対策に係る会議体について

・会議体の目的

本県における慢性腎臓病対策を総合的に推進していくため、「徳島県慢性腎臓病医療連携協議会」を設置し、新規透析導入患者数の減少及び早期発見・診断、良質で適切な治療を実施・継続できる診療体制の構築の推進を目的とする。

・CKD会議体の組織図



・会議議事、議論している内容

- かかりつけ医と専門医の紹介基準について
- 医師及び医療関係者を対象とした、腎疾患及び連携体制の普及啓発
- 県民への周知啓発

- ・CKD診療に係る協議体の設置
徳島県慢性腎臓病医療連携協議会（令和元年10月30日設置）
- ・かかりつけ医と専門医の診療連携を促進するツールの作成
紹介基準及び紹介時の要点をまとめた紹介基準シートを作成
- ・啓発資材（ポスター・パンフレット等）の作成、配布
特定健診の受診勧奨ポスター、糖尿病性腎症重症化予防チラシ
- ・県民公開講座の開催
世界腎臓デー（3月）に合わせた県民公開講座の開催
※令和元年度については新型コロナウイルスの影響を考慮し中止

管下の市町村におけるCKD対策の取組例

○市町村国保は血清クレアチニン及びeGFRを保険者独自健診項目として実施

○【A市】かかりつけ医、医療関係者向け研修会の実施

地域の中核医療機関が中心となり「かかりつけ医と専門医との連携体制について」、かかりつけ医やコメディカルへの研修会を開催。

研修会をきっかけに、市内での連携が進んだ。

○【B町】尿蛋白定量検査の実施体制の整備(町内5医療機関が協力)

★医療機関との調整事項

- ・検査用法、時間、費用
- ・健診後の再検査として導入の可否
- ・結果の返し方(医療機関保存用・複写) 等

★効果

- ・腎機能の適正な評価
- ・推定塩分摂取量を同時に測定し、保健指導に活用
- ・住民、かかりつけ医、保健師が結果を共有することで、その後のフォロー体制の構築につながった。

○【保健所】事例検討会の実施

実施回数:2回/年

参加者:県立病院腎臓専門医、町保健師、郡医師会

課題:かかりつけ医との結果の共有

今後に向けて

1. 今年度の取組

令和元年度、腎臓専門医や関係機関、保険者を中心とした**協議会を設置**し、県内のCKDに関する統計データや各保険者の抱える問題について情報共有を実施。

本県は新規透析導入患者数が全国ワーストクラス、更に、慢性透析患者数、腎不全死亡率全国ワーストという状況を踏まえ、まずは、良質で適切な診療をCKD患者が受けられるよう、「**かかりつけ医**」と「**専門医**」の**紹介基準を作成**した。

2. 課題

- ・かかりつけ医と専門医の連携体制構築を推進するための普及啓発
(かかりつけ医、医療従事者の理解)
- ・CKDを含めた生活習慣病予防、重症化予防
(県民の理解)

3. 今後の取組

- ・かかりつけ医、医療関係者を対象とした研修会の実施(紹介基準の啓発)
- ・県民への広報(県民公開講座、慢性腎臓病に関する情報発信の強化)
- ・健診、保健指導から医療機関受診につなげるための仕組みづくりを検討